

2016 年度

コノテラ通信はコノミヤテラスの日々の出来事や地域の情報をお知らせする通信紙です。その通信に見立て「協働する学生のチカラ版」として活動をご紹介します。

コノテラ通信

協働する 2016
学生のチカラ版

コノミヤテラスのインタビュー記事！
咲く南花台HP

南花台ってどんな街？

おしえて南花台ココ！



やりながら考える つくり続ける段階的改修

コノミヤテラスは2015年の10月に開設されましたが、その後も2期工事、3期工事と改修を続けています。一度に大規模な改修を行うのではなく、小さな改修を続けていくことで、常に変化に対応できる仕組みと空気をつくらせていきます。現在はフリースペースとしての木の部屋、貸出を行っている緑の部屋、赤の部屋という3つの部屋を活用しています。地域にも少しずつ広まり始め、様々な活動が行われるようになりました。



買い物応援プロジェクト

2016年12月からスタートした買い物でお困りの方のお手伝いをするプロジェクト。具体的には、買い物は自身でもらい、買ったものを一緒に歩いて家まで運びます。大切にしているのは、コミュニケーションを取りながら一緒に帰るといこと。利用される方も「買い物を楽しみました!」と喜んでおり、応援する方もやりがいを持って取り組んでいます。



咲く南花台健康クラブ
咲く南花台健康クラブでは、地域全体の健康意識を高めること、健康寿命の延伸を目標とし、様々な取り組みを行っています。コノミヤテラスは、タニタの体組成計を利用してきたり、健康クラブの活動場所として機能しています。現在は地域の医療福祉関係の有資格者のボランティア健康スタッフの方々による「まちの保健室(仮)」の立ち上げに向けた調整が進んでいます。

家台づくりプロジェクト



南花台の気持ちのいい場所を探し続ける。

家台(やたい)づくりプロジェクトは、「南花台の外をもっと楽しく使いこなしたい!」という思いから、外を使いこなすためにホーム(家)を持ち出すツールとして、「家台」を作ろうというプロジェクト。小さな公園や遊ぶわけにはいかない道路や空き地を、もっと楽しく、もっと自由に使うことを目指して、家台を引いて、いろんな場所を使います。

2016年10月からは「朝ごはん会」を不定期で開催しています。南花台にある気持ちのいい場所を探し出し、そこで朝ごはんを食べるといったもの。朝ごはんの中で普段テラスに来られない方と交流し、意見を聞いたり、情報発信したりしています。

コノミヤテラスの28年度の活動

「コノミヤテラス」は2015年10月3日に、誰もが気軽に立ち寄れる地域のコミュニティ拠点としてオープンしました!(当日コノミヤテラスに名前が決定!)住民・学生・行政・企業... いろんな団体、人が協働で365日オープンの拠点を目指します!拠点はできたばかり、やりながらいろんなことを考えていきます!

28年度のコノミヤテラスの活動

4月	<input type="checkbox"/> スマホタブレット講習会 <input type="checkbox"/> 旧南花台西小学校改修案検討開始
5月	<input type="checkbox"/> コノミヤテラス運営研究会スタート以降、毎月開催 <input type="checkbox"/> 小さなつながりゼミ①開催 <input type="checkbox"/> すまいるルームスタート以降隔月開催
6月	<input type="checkbox"/> 小さなつながりゼミ②開催
7月	<input type="checkbox"/> コノテラ通信創刊(以後毎月発行) <input type="checkbox"/> 家台コンペ開催
8月	<input type="checkbox"/> 小さなつながりゼミ③開催 <input type="checkbox"/> 家台づくり <input type="checkbox"/> ふれあいプラザ塗ってみよう会 <input type="checkbox"/> 南花台夏祭り参加
9月	<input type="checkbox"/> たいしろうのバースタート <input type="checkbox"/> 咲く南花台健康クラブスタッフ会議(以降毎月開催)
10月	<input type="checkbox"/> 家台 de 外ラボガーデン <input type="checkbox"/> 家台朝ごはん会 <input type="checkbox"/> コノミヤテラス自律運営に向けた有料化
11月	<input type="checkbox"/> 家台・まちづくりオープン会議参加
12月	<input type="checkbox"/> 買い物応援プロジェクトスタート <input type="checkbox"/> 咲く南花台報告会(市役所)
1月	<input type="checkbox"/> 咲く南花台健康クラブ健康クラブポイントスタート
2月	<input type="checkbox"/> コノミヤテラス第3期工事
3月	<input type="checkbox"/> ありがとうの会 <input type="checkbox"/> 咲くピクニック弁当・スポット開発

咲く南花台って?

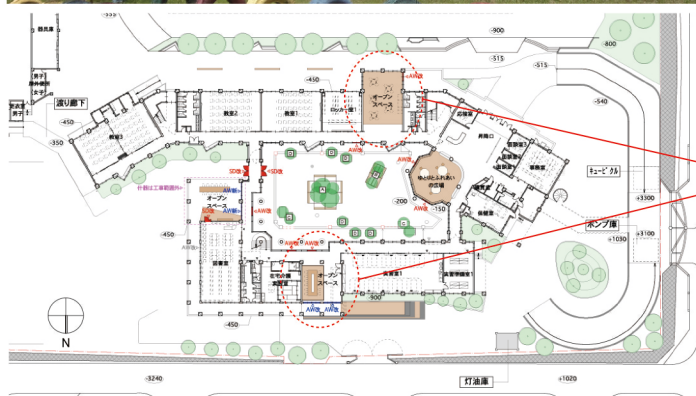
HPでチェックできます!
咲く南花台.com
http://sakukadai.com/sac

旧南花台西小学校リノベーション

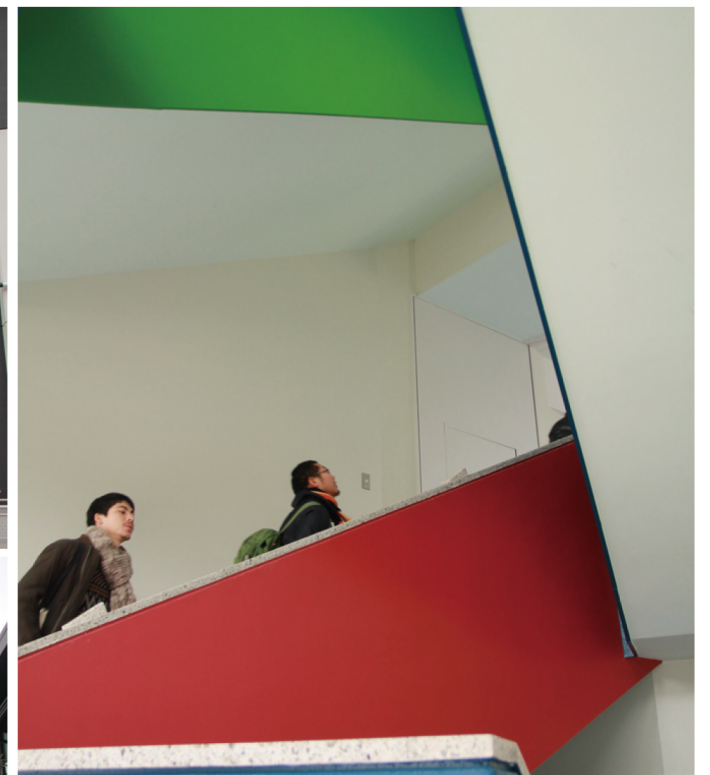
「地域と耕す丘の上の看護学校」

”丘のまち”での看護学校誘致に向けた、小学校校舎の改修を行った。

既存小学校は周辺住宅地に対して閉鎖的な構えをとっており、ガラスが多用された中庭空間も学校内側のみ開かれた状態であった。300人以上の学生を抱える看護学校誘致が町に与える影響は大きい。若い世代がまちの中を歩くことで活気付いたり地域経済の活性化も想定される。ニュータウンの未来のためにも、地域と連携できるまちに開かれた学校のあり方が求められる。これからの学校は地域に開かれた環境であるべきであり、だからこそ持続性を保つことができるのではないか。地域と連続性をつくりだす改修計画を進めることとなった。



- 塗り分けによる分節**
 塗り分けによる分節を行い、周辺とかけ離れたスケールの建物を地域と寄り添うような建物にする。全体をチャコールグレーとホワイトのツートーンの塗り分けにより、モダンな印象となるようにした。
- フリースペースの配置**
 まち側とグラウンド側にフリースペースを設けた。学生同士の交流の場になるとともに、周辺地域から見える位置に配置することで、学生たちの気配が地域にしみ出し、連続感を作り出す。
- 多様な場所を生み出す**
 様々な設計者や学生の提案で実現した看護学校は、それぞれの設計者の違いが出ており、均質ではない、多様な場所が生み出されている。



新ふれあいプラザ
 南花台地区に居住する高齢者などが集う憩いの場。その移転に伴い、新たなプラザの建物の改修計画を研究室学生を中心に行った。お披露目は家台の完成披露と合わせて行われ、屋外空間の新たな活用の可能性を感じてもらえる機会となった。



男山で協働するチカラ

平成 24 年度から継続的に関わり続ける男山地域のまちづくり。平成 28 年度の協働する実践をここにまとめています。



だんだん通信 11 月号より

だんだん通信 11 月号より

だんだんテラス開設3年!

11月16日をもって、だんだんテラスは開設3周年を迎えます!
「気軽に集まれる場所」を目指し、365日×3年(今年はいうう年なので11日)11096日
ひらき続けることで、元々空き店舗だった場に「だんだん」と人が集まる風景がうまれています。

365日オープンな「気軽に集まれる場所」として開設した「だんだんテラス」
学生と住民による協働運営の可能性を探りながら、運営開始から3年が経過しています。

協働する学生チカラ①
だんだんテラスの運営
H25.11~



学生、住民が力を合わせてだんだんテラスを運営しています!



開設当初の様子



やってみよう会議の様子



現在の様子

気軽に集まって、地域について考え、何かやってみる!

協働する学生チカラ②

だんだん通信の制作

H26.4~

男山地域全域 10,000 部発行する「だんだん通信」
学生の表紙写真、住民のコラム、UR 都市機構、八幡市、関西大学によるプロジェクトの情報等を掲載しています。

男山の人模様

男山 新住民の つぶやき

男山を初めて見に来た時、二
中の横の緑道で清掃活動をして
いる中学生たちと出会いまし
た。何人も「こんにちは」と挨拶
をしていただいて、京都市で
はそんなことはないの、びっ
くりしたと同時にうれしくなっ
たのを思い出します。

男山の子どもたちはよく遊
び、よく挨拶し、明るく、敏捷で、
とても素敵ですね。子どもが健
康で、社会性が身につくにつれて、
勉強ができる環境があり、好き
な活動ができる、そういう地域
にますます磨き上げていきたい
ですね。

この頃は用事で京都に出かけ
ても、樟葉の駅に降りるとホッ
とし、A棟の緑道に降り着くと、
空気がいいなあ、京都市はきれ
いだし文化も豊かだけれど、男
山も捨てがたい魅力がある、と
心が落ち着きます。男山の人は
ちは気さくな方が多いように感
じます。高齢者の方も、人生の
経験を生かして、それぞれがで

きることで地域を豊かにするこ
とに役立つと、周辺にそのよ
うな試みをしている所が何カ所
かあります。今でも十分いい所
ですが、住民がその良さを再認
識すれば、ますます住み良くな
る条件に恵まれています。

先日、緑道を歩いていると、
中学生、高校生たちと高齢者の
方、市役所の職員、警察官が集
まって団地の清掃活動をされ
ている姿をみかけました。清掃
活動を通して、色んな世代が交
流をもてる機会が男山にあるん
だなあと感じました。「清掃」
1つとっても、こうして人が集
まることができることもあるし、個
人の心がけで出来ることもあります。
例えば階段の入り口あた
りの不要な物を整理し、掃除し
てみるだけでも気持ちよさが
違ってくるように思います。



だんだんテラスに集まる子どもたち。
学年問わず集まって遊ぶ姿をよくみかける。